



こどもの目の日

「6月10日は こどもの目の日」

日本眼科医会、日本眼科学会が協力し、記念日の一つとして登録されました。

人間の目は生まれたばかりは、わずかしか見えませんが、6歳頃になるまでには1.0の視力がでてきます。1.0に届かない「**弱視**」の早期発見、治療や低年齢化する近視発症の予防のために、この「6歳で視力1.0」というキーワードを記念日に制定した次第です。

3歳児健診の後、就学前健診まで目の検査は、幼稚園、保育園の健診で受けるだけです。**視力検査まで受けることのできる園は少ない**と思います。昨今、スマホやタブレットなど液晶画面を見る時間が就学前のお子さんから増えています。ぜひ、視力検査を受けて見え方のチェックをしましょう。

サプリメントと薬

当院では主に「**緑内障**」と「**加齢黄斑変性症**」に特化したサプリメントの販売をしております。

サプリメントと薬の違いはなんでしょうか。サプリメントは、食品の位置づけで、薬は病気を治すものであります。

別の言い方をすると、病気にならないように飲むものがサプリメントで、病気になった後に飲むものが薬でしょうか。

しかし、すべての病気に根治的な薬が存在するわけではありません。サプリメントは病気を治すものではないですが、摂取することで、**体の内部から体を強くし、病気になりにくい体にする効果**が期待できるわけです。また、既存の治療を補完する役割や、目は二つありますので、もう一つの目に発症しないようにする**予防的効果**も期待できるわけです。ご興味のある方は、診察時にご相談ください。さらに詳しく説明いたします。